

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町議会議員 門脇 輝明



平成29年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	平成29年8月24日(木)～25日(金)	
2	研修地	大津市唐崎二丁目17-1 金国市町村国際文化研修所	
3	研修内容	(内 容)	
		(1) 自治体予算の原則	金国市町村国際文化 研修所
		(2) 歳入予算の基礎とそのチェックポイント、歳出予算の基礎とそのチェックポイント	
		(3) 財政の現状把握と今後の財政運営方策	
		(4) 意見交換会、質疑、まとめ	
4	研修結果 又は概要 (意見・ 感想)	(1) 予算の意義、予算の種類、予算のルール及び予算の編成から決算までの流れについて、一つ一つ、ていねいに、説明があり、良く理解することができた。	
		(2) 予算書の見方とチェックポイントをわかりやすく教えていただき、今後の予算決算審議で注意する点も理解することができた。特に、地交付税と、臨時財政対策債について、注意して見ていく必要があると思った。	

4 調査結果
又は概要
(意見・
感想)

(3) 決算カードの見方のポイント、普通会計という指標ができた理由等基礎的な事項を理解することができた。

今後の財政運営については、国の動向が大きく影響することから、その動きに注意し、合わせてプライマリーバランスの改善に留意する必要性を感じた。

(4) 意見交換会では「決算審査や事業評価」をテーマに話し合った。ポイントとして ① 決算審査に関する委員会や質問者が委員の役割程度であること。② 予算の審議結果を冊子にして、所の機関に配り、市民の情報提供としている町の事例紹介があり、参考となった。又、決算についても同様の情報提供をしては、との意見が出た。③ 事業評価に関する審議委員会に住民が参加している町の事例があり、脚題実として、議員が委員となっていないこと、議員の休職が少ないことが取り上げられた。

(5) まとめ

2日間を通じて、多くの事を学ぶことができた。また、たけらの他市町村の議員の方々と交流をもつことができて、大変有意義な研修会であった。特に沖縄市議の稲嶺さんとの交流の中で、沖縄のみやり(酒肴)といえは、「あわじ」「ラフター」と思っていたが、実は、

ウイスキーとステーキが「沖縄の定盤(定番)」だと教えられ、やはり、

実際に現地の人々の声をきくことが大切だと再確認することができた。大変に良い次に続く交流ができた。